

平成 30 年度大船渡市立公民館運営審議会

日 時 平成 30 年 5 月 21 日 (月) 午後 1 時 30 分～

場 所 大船渡市民交流館・カメラアホール
多目的ホール

【 次 第 】

1 開 会

2 あいさつ

(新委員、事務局職員の紹介)

3 報 告

報告第 1 号 平成 29 年度公民館事業の実施状況について

4 協 議

(1) 協議第 1 号

平成 30 年度公民館の事業計画について

(2) 協議第 2 号

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝状贈呈対象者の選考
方法について

5 そ の 他

6 閉 会

大船渡市立公民館運営審議会委員名簿

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

役職名	氏 名	新・再	在任年数	委 嘱 区 分	所 属 等
会長	千 田 尚 順	再任	8 年	学識経験者	市芸術文化協会会長
副会長	三 浦 昌 弘	再任	4 年	学識経験者	元 中 学 校 長
委員	鈴 木 晴 紀	新任	2 年	学識経験者	元 小 学 校 長 元 県 教 育 相 談 員
委員	志 田 倫 代	新任	2 年	学識経験者	元 小 学 校 教 諭
委員	川 村 俊 彦	新任	2 年	学校教育関係者	大船渡東高校校長
委員	薄 衣 裕 昭	新任	2 年	学校教育関係者	綾里小学校校長
委員	村 上 信 子	再任	8 年	社会教育関係者	元猪川町婦人会長
委員	今 野 晋 司	再任	6 年	社会教育関係者	元下欠地域公民館長
委員	澤 田 結 子	再任	4 年	社会教育関係者	元越喜来婦人会長
委員	佐 藤 善 公	新任	1 年	社会教育関係者	千歳部落会長
委員	新 沼 崇 久	再任	4 年	社会教育関係者	元大船渡青年会議所理事長 海来プロジェクト代表
委員	前 川 里 華	新任	2 年	社会教育関係者	NPO法人おはなしころりん所属 元小学校PTA役員
委員	朴 澤 和 子	再任	4 年	家庭教育関係者	元 幼 稚 園 教 諭 人形劇サークル代表
委員	村 上 泰 子	新任	2 年	家庭教育関係者	元こども園園長心得 市地域婦人団体連絡協議会理事 綾里婦人会会長
委員	志 田 真理子	新任	2 年	家庭教育関係者	児童家庭支援センター大洋所属 元市家庭児童相談員

※ 在任年数は、任期終了後（平成31年3月31日）までの通算年数。

報告第1号

平成29年度公民館事業の実施状況について

平成29年度公民館事業の実施状況について、別紙のとおり報告します。

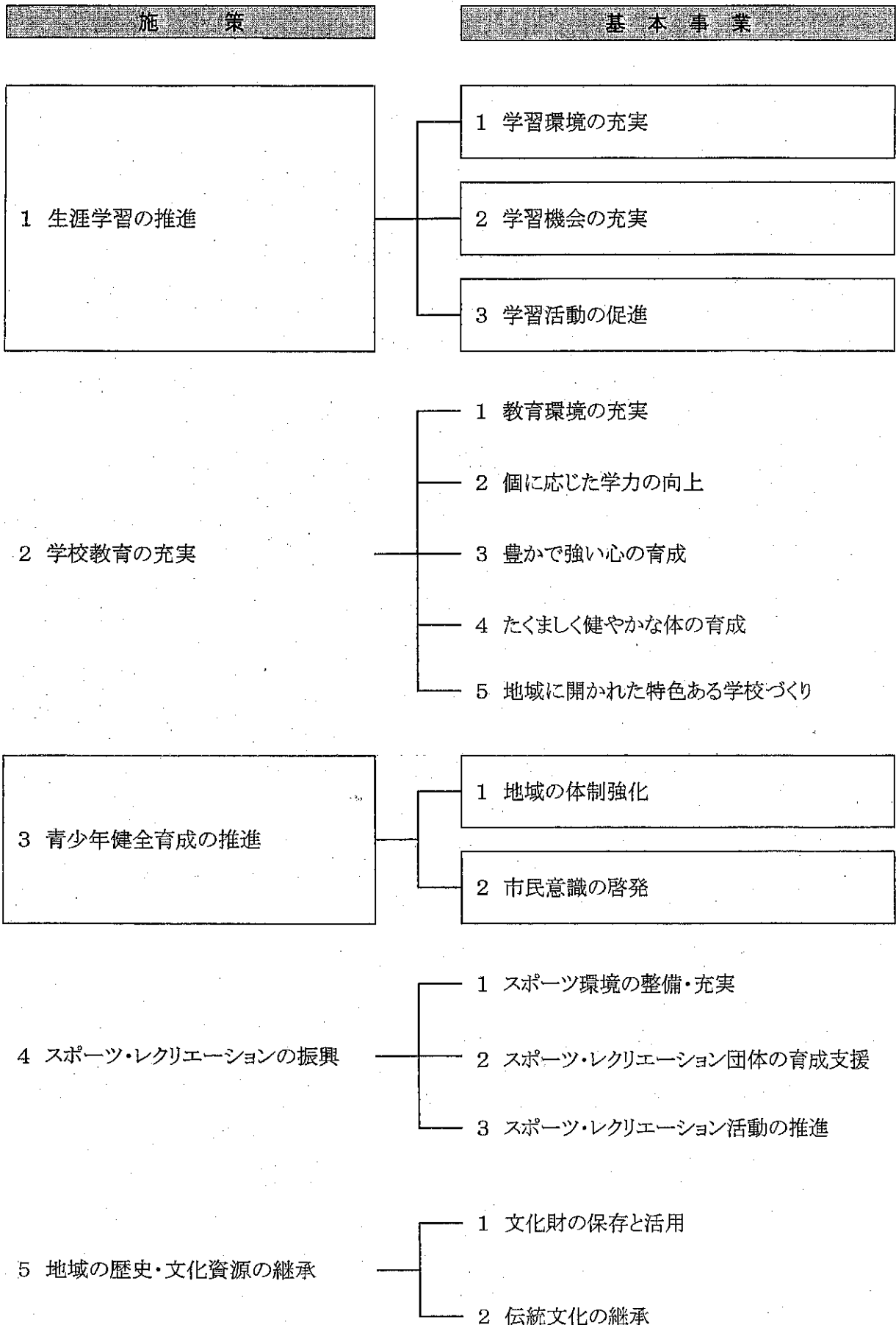
平成30年5月21日

大船渡市立中央公民館

館長 鈴木 一 司

施 策 体 系

※ 中央公民館の所管は、□で囲われた部分



報告(1) 平成29年度公民館事業の実施状況について

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める ・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める
(2) 学習機会の充実	・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る
(3) 学習活動の促進	・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
施設・設備の供用	通年	大船渡市民交流館・カメラアホール（利用者29,030名、1,870件） 三陸公民館（利用者10,123名、339件）
施設・設備の整備	9～2月	末崎地区公民館：法面樹木伐採 日頃市地区公民館：事務室改修
施設の維持管理	4～3月	大船渡市民交流館・カメラアホール：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託 三陸公民館：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託
課 題		・施設の老朽化に伴い、突発的・大規模な修繕等が多くなっている。市公共施設管理計画に基づき、計画的に更新・長寿命化を図る必要がある。

(2) 学習機会の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
生涯学習情報の提供	通年	市ホームページ、中央公民館報「カメラア」により学級・講座の情報等を提供
生きがいセミナー	5～11月	市内11地区で学習会（健康、歴史、ニュースポーツ、野外研修等を実施（入学生772名、延べ参加人数2,239名）
乳幼児学級	6～12月	開級式・12回学習会（講話、ワークショップほか）を実施（学級生21名、延べ参加人数180名、託児ボランティア登録者数19名）
地域再生支援文化活動事業	8～3月	市内11地区で学習会（ガーデニング、手芸等）を実施（延べ参加人数840名）
市民講座	9～3月	学習会（全6回）を実施（延べ参加人数238名）
ふるさと・おおふなとお話大賞	6～9月	大船渡を舞台にした創作童話を募集（応募作品26作品） 入賞者数／6名（大賞1名、奨励賞5名） 市ホームページで作品集を公開
課 題		【乳幼児学級】 ・1回の学習会を開催するにあたり、20名程度の託児ボランティアが必要となるため、事前に託児協力が可能な方を把握するとともに、ポスターの掲示等によるボランティアの新規確保に努めたが、必要な人数の確保にならなかった。 【地域再生支援文化活動事業】 ・一部の地区公民館では、参加者の確保に苦労しているとの意見が寄せられている。

(3) 学習活動の促進

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
地区公民館・地域公民館役員等研修会	7/22	講演「山根町が笑顔になれる地域づくりを住民と共に」講師：久慈市総合政策部市民センター管理事業係長 中村暁子氏、久慈市総合政策部地域づくり振興課集落支援員 清水美花氏（参加人数60名）

報告(1) 平成29年度公民館事業の実施状況について

【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 地域の体制強化	・地域の青少年組織や各地区・地域公民館、PTAなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。
(2) 市民意識の啓発	・小中学生や高校生について、地域や学校と連携して、様々な社会貢献活動や体験活動、さらには、地域行事への参加を促進する。

(1) 地域体制の強化

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
青少年体験学習事業	10～1月	親子野外料理体験、人工知能・ロボットの講演とロボット実演、3Dプリンター・3DCAD体験を実施（延べ参加人数64名）
家庭教育学級	6～2月	小中学校・こども園等18箇所で開催（延べ参加人数1,056名）
課 題	<p>【青少年体験学習事業】</p> <p>・事業を秋の学校行事のない期間中の休日に設定したが、課外活動や他のイベントと重複したため、参加者が思うようにのびなかった。</p> <p>【家庭教育学級】</p> <p>・学習計画の立案段階で受け入れ側の小中学校の担当者との連絡調整が課題となっている。</p>	

(2) 市民意識の啓発

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
花いっぱい運動	5～6月	市内小中学校11校、地区公民館8館に花苗・種子を配布

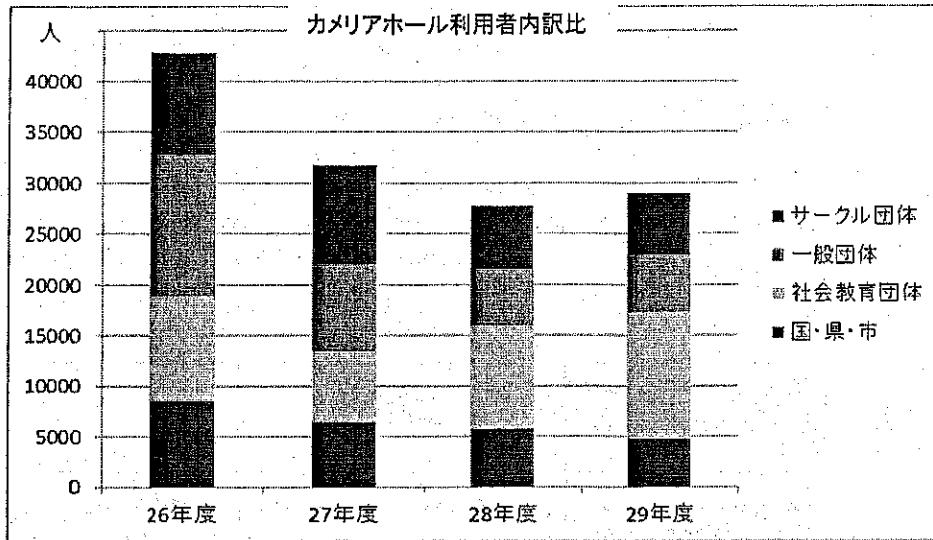
カメラホール利用状況

総括

	平成29年度	平成28年度
利用者数(人)	29,030	27,861
利用件数(件)	1,870	1,959
使用料(円)	4,648,710	4,878,265
減免額(円)	3,427,070	3,658,595
納入額(円)	1,221,640	1,219,670

利用者の推移(単位:人)

	29年度	28年度	27年度	26年度
国・県・市	4,806	5,746	6,525	8,613
社会教育団体	12,514	10,197	6,924	10,295
一般団体	5,624	5,615	8,618	13,851
サークル団体	6,068	6,303	9,659	10,063
計	29,030	27,861	31,726	42,822



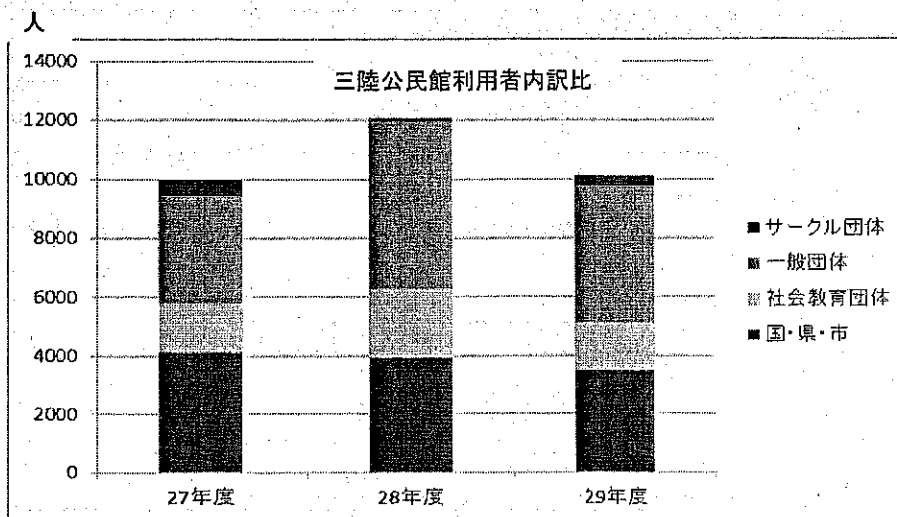
三陸公民館利用状況

総括

	平成29年度	平成28年度
利用者数(人)	10,123	12,086
利用件数(件)	339	382
使用料(円)	2,490,821	3,109,872
減免額(円)	2,141,527	2,780,644
納入額(円)	349,294	329,228

利用者の推移(単位:人)

	29年度	28年度	27年度
国・県・市	3,513	3,957	4,147
社会教育団体	1,613	2,326	1,652
一般団体	4,640	5,664	3,635
サークル団体	357	139	550
計	10,123	12,086	9,984



中央公民館所管事業 成果指標達成状況一覧

事務事業名	対 象	意 図	成果指標						
			指標名	単位	実績値				目標値 (H30)
					H26	H27	H28	H29	
カメラホール管理 運営事業	市民	安全・快適に学習活動が行える環境を整える。	カメラホール利用者数	人	42,822	31,726	27,861	29,030	28,000
			施設不具合件数	件	6	1	8	4	5
			施設不具合対応率	%	100	100	100	100	100
三陸公民館施設管理・運営事業	市民	安全・快適に学習活動が行える環境を整える。	三陸公民館利用者数	人	1,672	9,984	12,086	10,123	10,000
			施設不具合件数	件	2	0	0	0	0
			施設不具合対応率	%	100	-	-	-	-
生きがいセミナー	60歳以上の高齢者	学習活動を継続することで、より生きがいのある生活を送れるようになる。	延べ講座参加者数	人	2,584	2,452	2,349	2,239	2,400
			学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	%	93	94	83	77	85
乳幼児学級	4歳以下の子どもをもつ親等	学習活動や参加者同士の情報交換を通じて、自信を持って家庭での乳幼児教育ができるようにする。	講座に参加して有意義だったと感じた保護者の割合	%	100	100	95	100	100
地域再生支援文化活動事業	市内11地区住民	市民相互のコミュニケーション維持と、知識・教養・文化等を学習することにより、復興への意欲を醸成する。	延べ講座参加者数	人	1,492	1,477	865	840	900
			学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	%	93	94	93	96	95
成人大学講座 (平成29年度から市民講座に名称変更)	20歳以上の市民	・市民の学習要求を充足させる。 ・学習活動を通じて身につけた知識や経験を活かしてもらう。 ・生涯にわたって学習活動を続けることの大切さを知ってもらう。	講座の受講者数	人	102	74	118	-	-
			講座の年間延べ受講人数	人	261	268	421	235	320
			成人(市内20歳以上の人口)の成人大学講座への受講	%	0.31	0.23	0.36	-	-
ふるさと・おおふなとお話大賞事業	一般市民	おはなしづくりを通じて、参加した児童生徒等の郷土愛を育み、青少年の健全育成を図る。	応募作品数	点	33	26	38	26	40
青少年体験学習事業	・市内全体の小中学生	・地域活動への子どもを含めた住民の積極的な参加と協力を促し、家庭や地域の教育力の向上を図る。 ・子どもは地域で育てるという意識を高める。	実施事業数	回	41	29	2	3	2
			指定地域延べ事業参加者数	人	1,367	347	-	-	-
			中央開催分延べ参加者数	人	103	55	55	64	60
家庭教育学級	幼稚園保育園児～中学生の子どもを持つ保護者	・子どもに対して、自信を持って接し、家庭教育できる。 ・子ども同士の触れ合いが深まり、人の気持ちを理解できる。	参加保護者数	人	1,126	1,008	1,006	1,056	1,050
花いっぱい運動 (平成29年度で事業終了)	・地区公民館、地域公民館	・自然や地域社会に親しむ。	運動に参加した小中学校数	校	11	10	11	11	-
	・小・中学校		運動に参加した地区・地域公民館数	館	4	6	8	8	-
	・その他一般市民、諸団体		仮設商店街等の配布箇所数	箇所	9	10	-	-	-

協議第1号

平成30年度公民館の事業計画について

平成30年度公民館の事業計画について、別紙のとおり協議します。

平成30年5月21日

大船渡市立中央公民館

館長 鈴木 一 司

協議(1) 平成30年度大船渡市立公民館事業計画について

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	・ 市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める ・ 生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める
(2) 学習機会の充実	・ 市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る
(3) 学習活動の促進	・ 各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
施設・設備の供用	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設設備の供用
施設・設備の整備	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設修繕等
施設の維持管理	通年	カメラアホール、三陸公民館の施設管理業務を指定管理者に委託

(2) 学習機会の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
乳幼児学級	6～12月	乳幼児期における子育てや親子関係等に関する多様な学習機会を提供する。 〔対象〕乳幼児期の子どもを持つ親等
市民講座	8～11月	市立図書館・博物館等の社会教育機関や大学等と連携し、専門的分野に関する多様な学習機会を提供する。 〔対象〕市民
成人向け国際交流講座	6～12月	市民の国際コミュニケーション力の向上を目的に、初心者を対象とした英会話講座と、国際交流への理解を深めるための講座を開催する。 〔対象〕市民
生きがいセミナー	5～12月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため、学習機会を提供する。 〔対象〕市内11地区の高齢者（60歳以上）
ふるさと・おおふなとお話大賞	6～1月	大船渡を舞台にした創作童話の募集、審査・表彰を行う。 〔対象〕小・中学生、高校生、一般
地域再生支援文化活動事業	4～3月	学習や創作活動を通じて、住民相互の交流促進とコミュニティの形成を図る。 〔対象〕市内11地区の住民

(3) 学習活動の促進

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
地区公民館・地域公民館役員等研修会	6月	地区・地域公民館の先進事例やまちづくりにかかる研修会を開催する。 〔対象〕地区・地域公民館役員、公民館運営審議会委員

協議(1) 平成30年度大船渡市立公民館事業計画について

【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(1)地域の体制強化	・地域の青少年組織や各地区・地域公民館、PTAなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。

(1) 地域体制の強化

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
青少年体験学習事業	7、12月	子ども達の自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供する。30年度はグローバル人材育成プログラムとして、英語キャンプを新たに実施する。 〔対象〕小・中学生
家庭教育学級	通年	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する。 〔対象〕小・中学校、幼稚園・保育園・こども園のPTA、地域住民等

協議第2号

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝状
贈呈対象者の選考方法について

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝状贈呈対象者の選考方法
について、別紙のとおり協議します。

平成30年5月21日

大船渡市立中央公民館

館長 鈴木 一 司

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝贈呈 対象者の選考方法について

1 選考方法

(1) 選考委員会の構成について

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝贈呈要項（以下「要項」という。）第8の規定する選考委員会の構成を次のとおりする。

① 審議会委員（2名）

会長、副会長

② 事務局（1名）

中央公民館長

(2) 選考委員会の開催について

地区公民館及び地域公民館等から提出された候補者において、要項第4に規定する選考基準の「(3)その他」に該当する候補者の推薦があった場合のみ開催し、選考基準第4(1)、(2)を参考としながら贈呈の適否を協議する。

2 提案理由

(1) 経緯

平成28年度まで標記の感謝状贈呈対象者の選考については、第2回の公民館運営審議会で贈呈の可否を協議していた。

平成29年度から公民館運営審議会の開催を年1回としたこと、また、選考基準の「(3)その他」に該当する候補者の推薦がなかったことから、選考委員会を開催しなかった。

(2) 理由

要項第4に規定する選考基準の「(3)その他」に該当する候補者の適否を決定する基準がないため。

大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等感謝状贈呈要項

(目 的)

第1 この要項は、大船渡市教育委員会が大船渡市における社会教育の振興を図るため、地区公民館・地域公民館役職員永年勤続者、地域公民館並びに公民館活動の実績が顕著な個人及び団体等に対し、感謝状を贈呈することについて必要な事項を定めることを目的とする。

(贈呈の時期)

第2 感謝状の贈呈は、毎年「大船渡市生涯学習推進のつどい」において行う。ただし、必要に応じこの時期以外の時期に行うことができる。

(対 象)

第3 感謝状贈呈の対象は、おおむね次に掲げるとおりとする。

- (1) 地区公民館長、副館長、主事、書記
- (2) 地域公民館長、地域公民館の役職員等
- (3) 部落会等の役職員で社会教育の振興に係る実績がある者
- (4) 地域公民館と町内会が並存する地域の町内会役職員で社会教育の振興に係る実績がある者
- (5) 地域公民館
- (6) 公民館活動を行う個人または団体

(選考基準)

第4 選考基準はおおむね次に掲げるとおりとする。

(1) 地区公民館関係

地区公民館長（副館長、主事の経験を含む）で、5年以上勤続し退職した者、若しくは地区公民館の副館長、主事、書記で、7年以上勤続し退職した者

(2) 地域公民館関係

地域公民館長で、5年以上勤続し退職した者、若しくは地域公民館の役職員等（地域公民館長を含む）で、通算9年以上勤め退職した者

(3) その他

第3第5号及び第6号に掲げるもので、特に実績が顕著であるもの

(選考基準の準用)

第5 第3第3号及び第4号に掲げる者の選考基準は第4第2号を準用する。

(候補者の推薦)

第6 候補者の推薦書は次により作成し、大船渡市立中央公民館長に提出するものとする。

- (1) 第3第1号、第5号及び第6号を対象とする場合は、地区公民館長が作成する。
- (2) 第3第2号、第3号及び第4号を対象とする場合は、地域公民館長が地区公民館長と協議のうえ作成する。
- (3) 東日本大震災により被災した地域公民館において、推薦対象候補者に係る資料の流失により在任年数を確認できない場合や対象者の転居等があった場合は、地域公民館長の判断を尊重するものとする。

(提出期限)

第7 推薦書の提出期限は原則として毎年9月30日とする。ただし、必要に応じその都度提出することができるものとする。

(選考及び贈呈の決定)

第8 感謝状贈呈の対象は大船渡市立公民館運営審議会委員の中から別に選出された選考委員において協議し、教育長が決定する。

(補 則)

第9 この要項のほか必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は昭和58年5月25日から実施する。

附 則

この要項は平成元年1月19日から実施する。

附 則

この要項は平成10年9月1日から施行し、平成11年度から適用する。

附 則

この要項は平成18年10月19日から施行し、平成18年度から適用する。

附 則

この要項は平成27年7月29日から施行し、平成27年度から適用する。

附 則

この要項は平成30年5月15日から施行し、平成30年度から適用する。